

## 実習激励会が行われました

教頭 角 玲子

5月も後半に差しかかりました。岩戸養護学校では、木々の緑がますます鮮やかになり、「薫風」といふことばがぴったりの心地よい風が吹きわたっています。

さて、岩戸養護学校では、2年生・3年生において、年2回(前・後期)、現場実習を行っています。3年生の実習の目的は「進路の選択、決定」です。2年生の実習の目的は、「経験を積み、自信をつける」「自分の適性を把握する」の2点となります。3年生は5月23日から2週間、2年生は6月20日から2週間が実習期間となり、企業や福祉施設等に一定期間通い、現場で働く体験をします。

その現場実習に向け、5月17日にA部門(肢体不自由教育部門)2・3年生、5月20日にB部門(知的障害教育部門)3年生に向けての実習激励会が行われました。どちらの部門でも生徒一人ひとりが、行先や目標について発表をしました。B部門では、3年生が発表をし、在校生が発表に対しての質問をする場面がありましたが、「なぜ、その仕事を選んだのか?」という問がありました。この問いは基本的な質問でありながらも、答えることが難しい内容に思います。なんのために働くのか?どのような仕事をしたいか?など、自分の将来に向けてどのくらいイメージができていくかが必要になるのではないのでしょうか。本校の3年生はこの質問にもスムーズに答えており、これまでの学習の積み重ねを感じました。

実習は学校から離れ、一人で働くということとなり、それぞれが不安や緊張を抱えていることと思います。ですが、これまで学校で積み重ねてきたことをもとに、自分を信じて実習に取り組み、卒業後の将来のイメージをつけていってほしいと思います。

みなさん頑張ってください。

